

警 察 署 協 議 会 会 議 録

八女警察署協議会

開催年月日時	令和4年6月16日 午後4時30分 から 令和4年6月16日 午後5時30分 まで	
開催場所	八女警察署 大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下10名
	警 察 署	署長、総務課長、会計課長、生活安全課長、黒木 警部交番所長、刑事課長、交通課長、警備課長
議 事 概 要		
<p>【会長挨拶（要旨）】</p> <p>いよいよ梅雨期を迎えたというところ、昨年中も管内では大雨等による災害が発生しており、今年も災害は発生するとの認識の下、我々も気を引き締めていかなければと思っています。</p> <p>今回は、先日出席した警察署協議会会長連絡会議の会議結果について紹介する。</p> <p>〈公安委員会委員長挨拶（要旨）〉</p> <p>福岡県警察に警察署協議会が設置されて21年が経過したが、警察署の業務運営に貴重な御意見をいただくとともに、地域と警察署が一丸となって様々な治安課題に取り組んだ結果、犯罪の発生件数が19年連続で減少するなどの大きな成果となって表れている。</p> <p>〈警察署協議会からの活動報告等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小倉北警察署協議会の活動報告として、「暴力団排除教育サポーターによる暴力団排除教室」、「飲酒運転撲滅教育用体験VR等による体験型の交通安全教室」等について ○ 行橋警察署協議会の活動報告として、「ウェブでの警察署協議会の開催」、「京 		

議 事 概 要

都郡苧田町における防犯カメラ設置補助金制度の運用開始」について

- 小郡警察署協議会の活動報告として、「ニセ電話詐欺被害防止対策の推進」について

以上のとおり報告等がなされたが、防犯カメラ設置補助金制度については過去に八女市が実施していた内容を会長連絡会議にて報告したことが契機となって実現したと聞いている。

また、VR体験については今回実施されるとのことであり大変興味がある。

それでは、今回も各委員忌憚のない意見等をお願いする。

【署長挨拶（要旨）】

会長を始め委員の皆様には、日々警察活動に対する深い御理解と御支援を賜り、重ねて御礼申し上げます。

会長からもお話があったが、いよいよ梅雨期を迎え我々も気を引き締めてかからなければならぬと感じている。

今回は、現在実施している災害対策や交通安全対策、前回の御要望に対する措置結果について説明を行う予定である。

本日はどうぞよろしく願います。

【災害対策の推進状況】～警備課長

パワーポイントを使用した災害対策の推進状況

【交通事故抑止対策・飲酒運転VR体験】～交通課長

- シミュレーターを活用した危険運転予測・飲酒運転VR体験
- DVDを活用した飲酒運転通報訓練

【前回要望の回答】

- 前回の協議会（3月16日）において、委員から「広川野球場から藤山線に向かう直線道路上に押しボタン式の信号横断歩道があるが、歩行者信号が青であるのに、信号無視をする車両がいて通学する小学生などが怖い思いをしていると聞いた。4月から新1年生の通学も始まることから、登下校時間帯のパトロールの強化をお願いしたい。」旨の要望があり、交通課長から「小学生等の歩行者に対して事故防止を図るため、3月17日からしばらくの間、登下校時における保護誘導活動を実

施するとともに、横断歩道等を示すペイントが薄くなっていたことから広川町に申し入れを行い、横断歩道や停止線の塗装等を図り、視認性を高めるなどの措置を講じた。」旨の回答があった。

- また、前々回の協議会（令和3年12月23日）において、委員から「県道久留米立花線上にあるバス停直近の住宅に車がカーブを曲がり切れずに衝突する事故が発生しているが、事故を減らすための対策はできないか。」旨の要望があり、交通課長から「県道を管理する道路管理者と現場確認の上協議を行い、歩道縁石上に反射設備を設置して、減速を促す措置を講じている。」旨の回答があった。

【八女市役所消費生活センターとの取組状況】～生活安全課長

- 前回の協議会（3月16日）において、委員から「八女市役所においても、消費者トラブルに関する相談が増加しているが、消費者トラブルに対する警察と行政の連携を図るような取組は可能か。」旨の質疑があり、生活安全課長から「八女市における消費者生活センターとの連携を密にして、6月13日、警察、消費者生活センター合同で出前型の防犯講話を開催している。今後も同一の機会において実施することとしている。」旨の説明があった。

【質疑・応答】

- 委員から「防犯講話を行っているとの説明を受けたが、自治運営協議会の代表として防犯講話の要請することは可能か。また、時間等の制限があるか。」旨の質問が、他の委員から「老人クラブなど集落単位での要請も可能か。」旨の質問があり、生活安全課長から、「対象人数、日時、場所等御要望に応じて柔軟に対応していくので遠慮なく相談してほしい。」旨の回答があった。
- 委員から「本日午前中、八女市国道442号バイパス上の2車線道路でバスに乗車していた際、逆走する車を目撃した。バスの運転手が機転を利かしてクラクションを鳴らして逆走を知らせたので事故は起きなかったが、この場合どうすればよかったのか。」旨の質問があり、交通課長から「逆走行為は、正常な判断ができない状態、例えば飲酒運転被疑者に見られる行為であり、逆走等危険な運転を目撃した際は、躊躇することなく110番をお願いする。」旨の回答があった。
- 委員から「消費者センターとの連携について早速取り組んでいただき感謝している。また、警察における災害対策の報告を受けて、自治体としても災害対策に向けしっかりと取り組んでいかなければと感じている。避難等の指示についても判断が

難しいが市民の安全を守るため、躊躇することなく行っていきたい。」旨の発言があった。

【署長による署訓説明】

八女警察署の署訓は「憂患共心・端的只今」である。

これは、「県民の立場に立った仕事をする」、また「有事即応体制」の心構えを表している。

【総括】

副会長から「災害対策の報告にもあったが、私も災害対策図上訓練等に参加した。警察の災害対策への取組を再認識でき、とても心強く感じた。来るべき災害に備え今後も連携・協力して取り組んでいきたい。引き続き八女地区の安全・安心のため尽力をお願いする。」旨の総括があり会議を了した。

【閉会】

以上で、令和4年度第1回八女警察署協議会を閉会する。